



一般社団法人 日本建築ドローン協会

(Japan Architectural Drone Association, JADA)

説明会

- 開催日時: 2017年10月23日(月)

•開催場所:如水会館

·説明者 :JADA 副会長 宮内博之



日本建築ドローン協会 役員(設立社員)



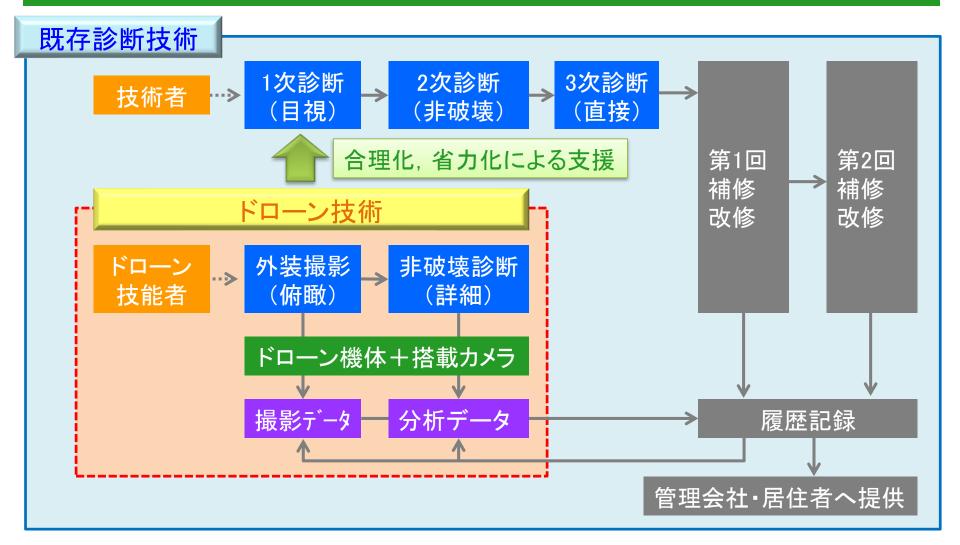
役職	氏名	所属	現職専門/協会での役割
会長	本橋健司	芝浦工業大学 建築学部 建築学科 教授	建築材料/統括
副会長	宮内博之	国立研究開発法人 建築研究所 材料研究グループ主任研究員	建築材料/技術部門
副会長	兼松 学	東京理科大学 理工学部 建築学科 教授	建築材料/建築材料部門
副会長	楠 浩一	東京大学地震研究所 災害科学系研究部門 准教授	建築構造/建築構造部門
理事	岩田拡也	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 情報・人間工学領域 知能システム研究部門 フィールドロボティクス研究グループ 主任研究員 ((一社)日本UAS産業振興協議会 常務理事)	ドローン /システム部門
理事	石田敦則	三信建材工業株式会社 代表取締役社長 ((一社)日本ドローンコンソーシアム 地域促進委員会 委員長)	建築材料/教育部門
理事	酒井学雄	株式会社スカイスコープソリューションズ 代表取締役社長 ((一社)日本ドローンコンソーシアム 事務局長)	ドローン /ドローン部門
理事	戸澤洋二	一般社団法人 日本ドローン無線協会 会長	ドローン /無線部門
監事	森田喜晴	ルーフネット 編集長	建築材料/広報部門
監事	杉浦健一	杉浦税務会計事務所 所長	会計



1. JADA設立の背景(②ドローン技術活用のメリット)



ドローン技術による合理化、省力化、情報化(IoT, AI, クラウド等)

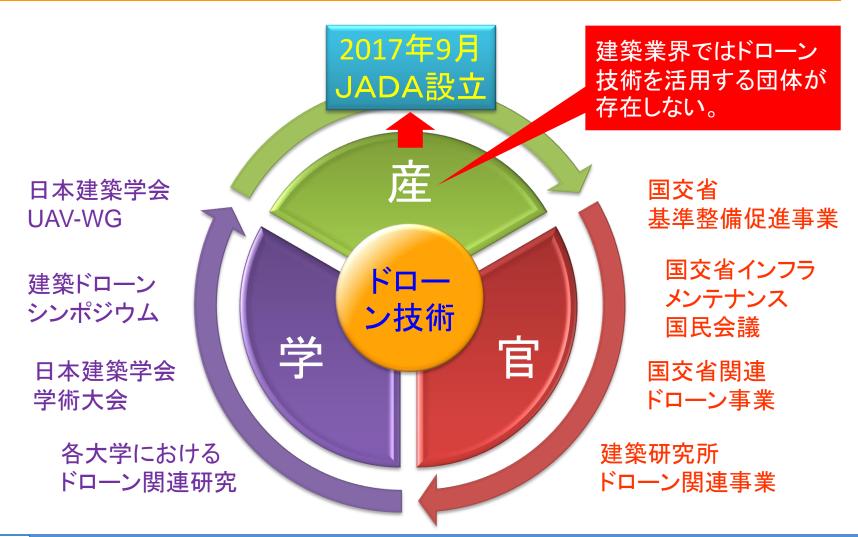




1. JADA設立の背景(⑤産官学分野での現状)



建築業界におけるドローン技術普及への貢献





2.1 JADAの役割



ドローン分野の現状

- 社会背景:非専門家による建物調査点検が増加している。
- ◆ 教育:建物に特化した技能教育スクールが殆どない。
- 技術:建築分野へ新規参入のための技術を取得しにくい。

日本建築ドローン協会

(JADA)

建築分野の現状

- 社会背景:ドローン技術の活用が高まっている。
- 教育:建築分野でドローン技術を習得する場が少ない。
- 技術:ドローン技術を習得している技術者が少ない。



2.2 JADAの理念



日本建築ドローン協会(JADA)

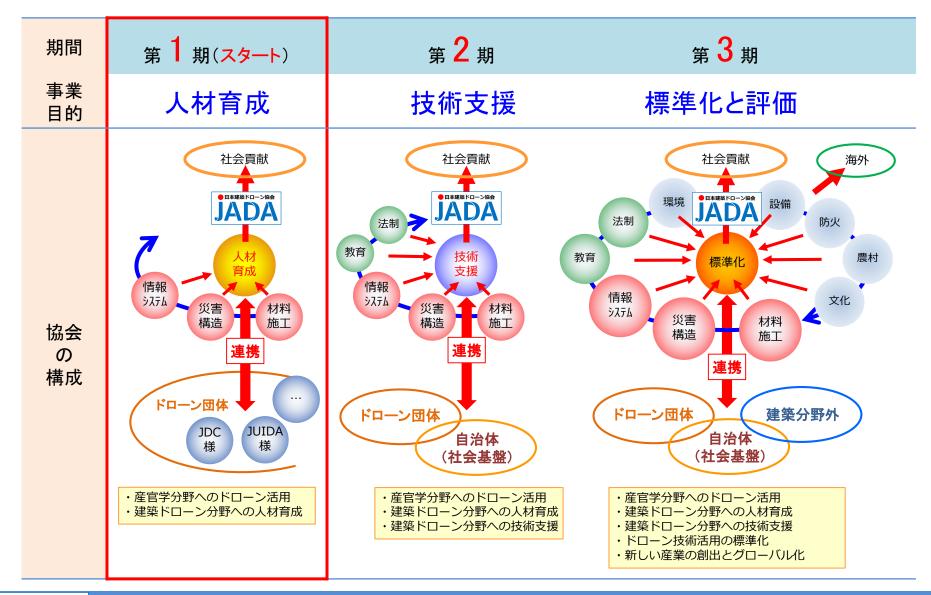
『当協会にてドローン技術を活用する上での理念』

- 既存の調査・診断技術の活用を基本とする
- ドローン技術は既存技術の積み上げの基に成立する技術であることを原則とする
- 既存団体の技術を尊重し、公正中立な立場で JADAが支援可能な技術を提供する
- 既存団体との協業・発展を促進し、社会に貢献する



2.3 JADAロードマップ(第1期~第3期)







2.4 第1期人材育成プログラム

第1期人材育成プログラムが目指すアウトプット

①:技能講習会の対象飛行レベル(案)への対応

②: 国土交通省基準整備促進事業T3の成果等への対応

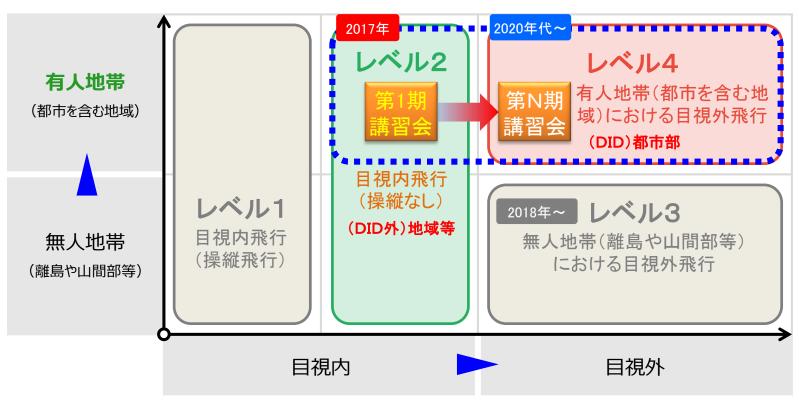


8

2.4 第1期人材育成プログラム



①:技能講習会の対象飛行レベル(案)への対応



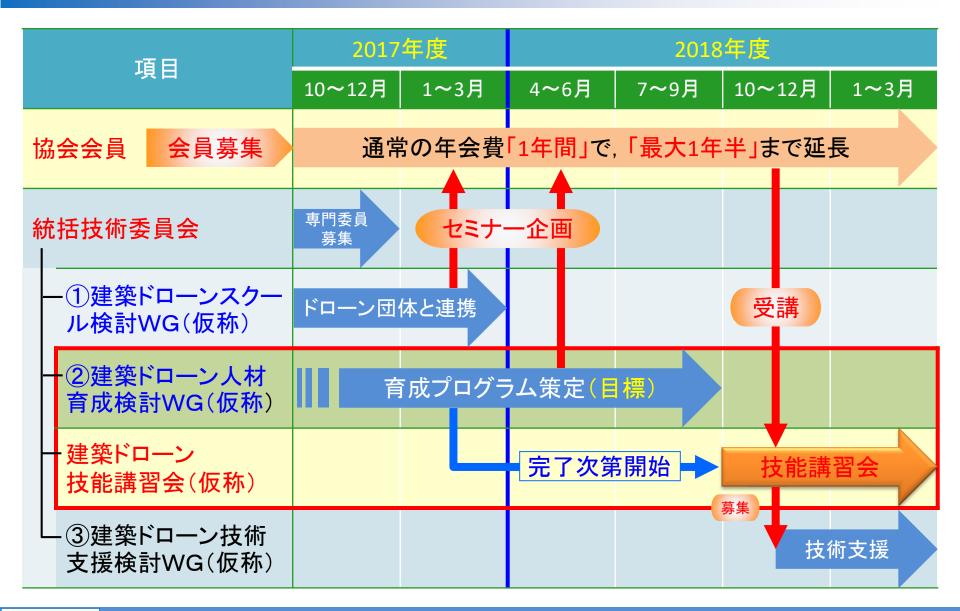
小型無人機(ドローン)の飛行レベル

◆首相官邸政策会議: 小型無人機の利活用と技術開発のロードマップ(平成28年4月28日 小型無人機に係る環境整備に向けた官民協議会)http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kogatamujinki/pdf/shiryou6.pdf



2.4 第1期人材育成プログラム







2.5 建築ドローン技能講習会(仮称)



建築ドローン技能講習会で対象とするドローン技術

適用部位:外壁:足場が必要となる箇所、目視観察できない箇所

屋根:歩行が困難な場所(勾配屋根等)

• 点検調査水準

現段階のドローン技術で 活用可能と思われる範囲

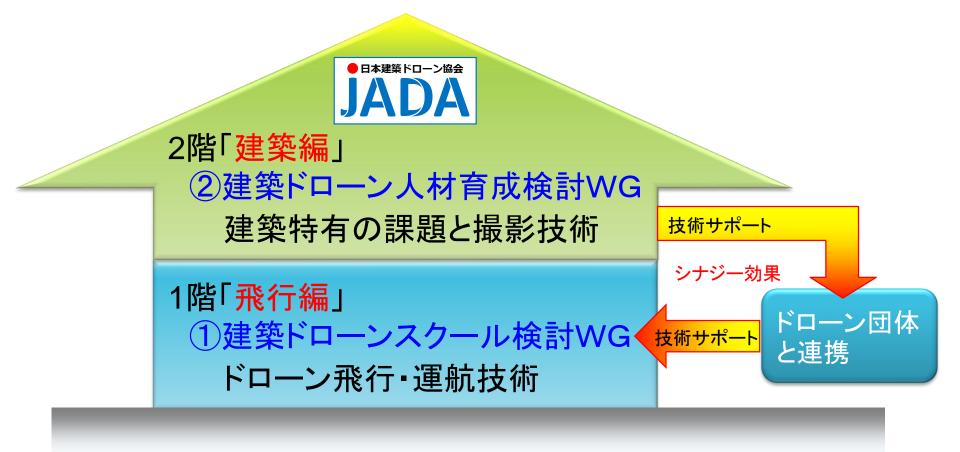
診断水準	既存技術	ドローン技術
1次診断	体感問診(目視点検)	空撮:俯瞰的撮影(カメラ等)
2次診断	非破壊・詳細調査(変状・亀 裂等の詳細測定等)	空撮:詳細点検(高解像度カメラ、赤外線カメラ等)
	打音検査	近接•接触(打音検査等)
3次診断	直接診断(破壊試験等)	接触調査(削孔等)



2.6 JADAが目指す連携・構築



建築分野でドローン技術を活用可能な人材育成



2.6 JADAが目指す連携・構築



建築分野でドローン技術を活用可能な人材育成

既存建築系団体における調査技術の理解と活用

既存ドローン団体スクールとの連携

ドローン活用の業務が可能な自治体との連携

建築に特化したドローン保険制度の構築

(建築に関わる様々な技術分野)



3. 協会会員構成とメリット



協会会員の構成

〇個人会員: 学校・自治体・政府機関

〇法人会員: 法人又は団体

○賛助会員: 本協会に賛同する団体, 法人又は個人

協会会員のメリット

○技術情報: 建築分野でドローンを活用するための技術情報を取得できます

(建築ドローンセミナー, 現場見学会等)

○人材育成: 建築物を対象としたドローン業務の人材育成プログラムに参加できます

(ドローン点検セミナーでの研修等)

○協会参画: 本協会が設置する委員会等に参加できます

(建物調査点検,画像検証,災害検証等の各委員会)

○技術交流: 会員限定の技術交流会等への参加の案内を受けることができます

(海外ドローン点検技術の見学, 最新点検技術の見学等)

〇会員割引: 本協会が主催するセミナー・講演会・講習会等の参加費の割引あり

○最新情報: 本協会が発行するニュースレター等を購読可能



4. JADA関連情報



•協会名: 一般社団法人 日本建築ドローン協会

• 英語名: Japan Architectural Drone Association

略 称: JADA(読み方:ジャダ)

【設立年月日:2017年9月1日】

場所 :〒101-0047

東京都千代田区内神田2-14-13

高芳ビル6階

(JR神田駅から徒歩2分)

HP: http://jada2017.org/

E-mail: info@ jada2017.org

Tel: 03-6260-8655

Fax: 03-6260-8656

